



「もらい事故」に遭い相手が事実と異なる虚偽の主張をするといったことや最近多発する「あおり運転」が原因で起こった自動車事故。このような事故に遭ってしまった時に「事故の目撃者」となってくれるのがいまテレビや新聞で大変話題になっている「ドライブレコーダー」です。アドバンスでは、ドラレコをお車に搭載していただくことを推奨しております。ドラレコの搭載を検討される際は、アドバンスにお気軽にご相談ください。

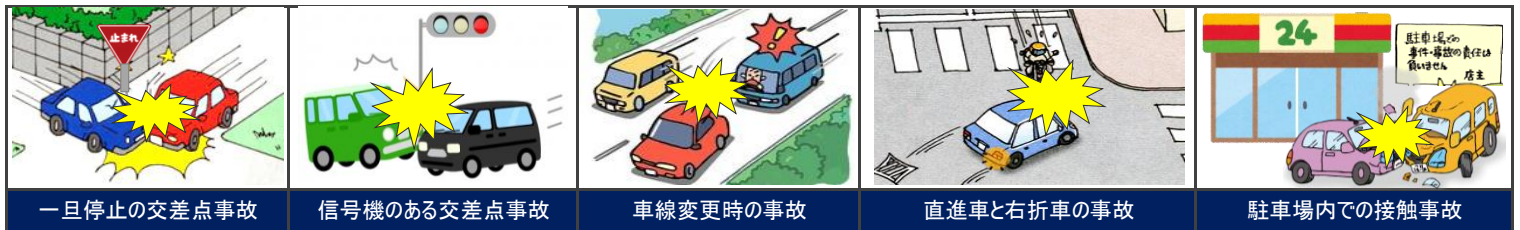
あなたは「もらい事故」や「あおり運転」を立証できますか？

「自分は安全運転だから事故は絶対に起こさない」と言われる方も、「もらい事故」は避けることができません。また最近多発しているのが「あおり運転」を原因とする自動車事故です。このような「もらい事故」や「あおり運転」の被害に遭ったのに、相手が事実と全く異なった虚偽の事故報告を保険会社にしていて、逆に損害賠償請求をされたという事例が数多くあります。このようなことが起こってしまったとき、事故時の状況証拠となる「カメラ映像」や「第三者の目撃証言」が得られないと、相手と主張が食い違ったまま平行線となります。警察に相談したとしても警察は民事紛争は「民事不介入」で全く対応してくれません。弁護士に相談したとしても、状況証拠が何もないと、相手の主張が虚偽であることを立証するのは大変困難です。



よくある相手と「事故状況」や「主張」が食い違う事故例

「自分は青信号だった」と双方が主張する交差点事故」「相手が速度を出しすぎていた」と双方が主張する事故」「一旦停止をしたしていない」で食い違う事故」「車線変更時 指示器を出した 出していない」で食い違う事故」「自分は止まっていた」と双方が主張する駐車場事故」など、このような事故は日常茶飯事です。



ドライブレコーダーは「事故の目撃者」になってくれます！

自動車事故が発生した際、双方の「事故時の状況報告」が一致することはほとんどありません。こんなときドライブレコーダーが搭載されていると、事故の直前～直後の状況が克明に記録されますので「双方の状況報告が食い違う事故を解決するときの決め手」となります。ただしドラレコの役割は、どのような事故の時でも自分を「有利」にしてくれるものではありません。あくまでも事故の瞬間の「真実の証拠映像を残すこと」ですのでご注意ください。



今やドライブレコーダーは数十社から数多くの商品が発売されています。「価格」や「性能」も様々で「ドラレコを付けたいと思うけどどの商品を選べばいいかわからない」といった声をよく耳にします。そこで最新のドラレコの「価格」や「性能」など『ドラレコ選びのポイント』についてお知らせいたします。(裏面をご覧ください)



「前後撮影」や「360度撮影」のドラレコの登場！

最近「あおり運転対策」でドラレコを搭載される方が多いので、「前後撮影」や「360度撮影」モデルのドラレコが大変人気があります。

「前後撮影モデル」は「カメラ一体型」と「2台カメラ」のタイプがあり、価格は「20,000円前後」のものが中心です。「360度撮影モデル」は最近登場したばかりで、画質や夜間での映りは普通のドラレコより劣るため、映像から後ろの車のナンバーを読み取るのは難しく、価格も「20,000円台から50,000円台」とまだまだ高めです。



ドラレコの「バックアップ電源」と「耐熱性能」は重要ポイントです。

ドラレコ選びのポイントで、「高画質」「GPS機能」「Gセンサー」「駐車監視機能」などの性能はとても重要ですが、その他にも大切なことがあります。それはドラレコに「バックアップ電源」があることです。ドラレコは車のバッテリーの電気を使って動いているので、事故の衝撃でバッテリーが壊れてしまうと電源が切れてしまい「肝心の事故の瞬間の映像が録画できていなかった」ということがあります。

そんなドラレコに万が一電源供給がされない状態になっても、バックアップ電源があると、事故時の記録映像の書き込みが終わるまで数分間はドラレコを動かす電力を確保してくれます。

それとドラレコも故障やフリーズといったことが起きますが、その主な原因は事故の衝撃ではなく、実は「熱」です。ドラレコは一般的にフロントガラスに装着する上に、真夏の炎天下で駐車した車内の温度は80度近くになり、その高温に耐えられずドラレコがオーバーヒートしてしまうからです。ですのでドラレコを選ぶ際に「動作温度」を確認するのも非常に大切です。現在 動作温度70度といった商品も発売されています。

「夜間も白飛びせず鮮明に撮れる」ドラレコを選びましょう。

ドラレコ選びで「高画質」なのは重要なポイントですが、ビデオのように風景を録画することが目的ではなく万一事故が起こった際の「事故の状況」や「相手の車のナンバー」を記録することが目的ですので、できるだけ夜間でも光が「白飛び」せず鮮明に撮影できるドラレコを選びましょう。

またドラレコの設定画面で「画像補正」を「少し暗め」に設定することで白飛びを軽減させることができます。



「パーキング(駐車監視)モード付き」ドラレコも注目です。

パーキングモード(駐車監視)付きドライブレコーダーは走行時のみを録画する従来のタイプではなく、駐車中の「当て逃げ」「車両のいたずら」「車上荒らし」対策としてエンジンを停止後自動的に映像を録画します。

[録画方式は3パターン]

- ①【動体検知(モーションセンサー)】・・・カメラが動くものを感知した前後一定時間を録画するモード
- ②【衝撃検知(Gセンサー)】・・・ドライブレコーダーが衝撃を感知した前後一定時間を録画するモード
- ③【連続録画】・・・駐車中の様子を常に録画するモード

